



2021年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年10月4日
東

上場会社名 株式会社バイク王&カンパニー 上場取引所
 コード番号 3377 URL <https://www.8190.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石川秋彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 (氏名) 竹内和也 (TEL) 03-6803-8855
 四半期報告書提出予定日 2021年10月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第3四半期の業績 (2020年12月1日～2021年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第3四半期	19,739	20.7	1,435	126.9	1,599	111.7	1,067	118.7
2020年11月期第3四半期	16,349	12.2	632	814.6	755	311.7	488	647.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第3四半期	76.46	—
2020年11月期第3四半期	34.97	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第3四半期	8,674	5,502	63.4
2020年11月期	7,655	4,580	59.8

(参考) 自己資本 2021年11月期第3四半期 5,502百万円 2020年11月期 4,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	2.50	—	5.00	7.50
2021年11月期	—	5.50	—	—	—
2021年11月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年11月期の業績予想 (2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,700	10.5	1,490	110.6	1,650	91.9	1,090	83.4	78.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期3Q	15,315,600株	2020年11月期	15,315,600株
② 期末自己株式数	2021年11月期3Q	1,350,000株	2020年11月期	1,350,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期3Q	13,965,600株	2020年11月期3Q	13,965,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、欧米諸国や中国経済がワクチン接種の進展で正常化へ向かいだし、輸出や設備投資の回復が鮮明化してきた一方で、個人消費はワクチン接種の進展で持ち直しの兆しが見え始めたものの、感染再拡大による緊急事態宣言の延長などによる下押しがみられ、全体としては依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

当社が属するバイク業界におきましては、昨年より二輪免許取得者数が増加に転じる等の環境変化が起きており、新車、中古車の需要は高まってきております。この背景には、近年のアウトドアブームに加えて、コロナ禍による人々の行動の変化を映したバイク志向の高まりがあるものとみられています。

国内におけるバイクの保有台数は約1,053万台（前年比1.8%減）と前年を下回るものの、当社の主力仕入とする高市場価値車種である原付二種以上は約543万台（前年比1.1%増）と前年を上回っております^{*1}。また、新車販売台数は約33万台（前年比0.9%減）と前年を下回るものの、高市場価値車種は約21万台（前年比3.4%増）と前年を上回っております^{*2}。

※1. 出所：一般社団法人日本自動車工業会(2019年3月末現在)

※2. 出所：一般社団法人日本自動車工業会(2020年実績)

このような市場環境のもとで、当社は、ビジョンとして掲げる「バイクライフの生涯パートナー」の実現に向けて、従来のバイク買取専門店としての「バイクを売るならバイク王」から、バイクに係る全てのサービスを総合的に提供する「バイクのことならバイク王」と言われるブランドへ進化を目指しております。そして、一人ひとりのお客様満足度のさらなる充実とともに長期にわたって多くのお客様に支持していただける企業になること、さらに、お客様とともにより豊かなバイクライフを創り上げていく企業となることを実現したいと考えております。

当事業年度においては、従来から進めてきた複合店（買取およびリテールを展開する店舗）における仕入力および販売力の強化をさらに推進し、より一層お客様満足度を高めるとともに、経営基盤の強化に努めてまいります。

上記を踏まえ、当第3四半期累計期間における、バイクの仕入は、効果的な広告展開、人員や体制の強化、仕入れキャンペーン等の実施により、前期同様に高市場価値車種を継続して確保できました。

バイク販売のリテールにおいては、マーチャンダイジング施策として商品ラインアップの適正化、店舗の新規出店（2店舗）、移転・増床（4店舗）、接客力向上、売り場改善による既存店の販売力強化および通信販売の強化を推進いたしました。また、期初から引き続き優良な在庫を確保したことにより高市場価値車種の比率が上昇し、堅調なリテール市場の需要にも支えられ、業績は好調に推移いたしました。なお、4月には周辺ビジネスの拡大という観点を踏まえ、車種とその用品・部品を取り扱うECサイトの運営を担う、子会社・バイク王ダイレクトを設立し、7月にはECサイト「バイク王ダイレクト」を開設いたしました。ホールセールにおいても同様に、高市場価値車種の確保を行ったことで、業績は好調に推移いたしました。

これらの取り組みによって、販売台数は、リテールでは前年同期より増加いたしました。リテールへ商品在庫を回したことでホールセールでは前年同期より減少して、全体としては前年同期をやや下回る結果となりました。一方、車種売上単価（一台当たりの売上高）が前年同期より大幅に上昇したため、売上高は増収となりました。加えて、平均粗利額（一台当たりの粗利額）が前年同期より大幅に上昇したため、売上総利益も増益となりました。

営業利益以降の各段階利益につきましては、リテール、ホールセールいずれも好調であったため前年同期から大幅な増益となりました。

以上の結果、売上高19,739,702千円（前年同期比20.7%増）、営業利益1,435,577千円（前年同期比126.9%増）、経常利益1,599,272千円（前年同期比111.7%増）、四半期純利益1,067,771千円（前年同期比118.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて1,027,487千円増加し、6,227,931千円となりました。これは主に、商品が790,777千円、現金及び預金が225,033千円、売掛金が55,081千円、貯蔵品が33,980千円増加し、未収入金の減少等により「その他」が77,375千円減少したためであります。

(固定資産)

固定資産は、前事業年度末に比べて8,079千円減少し、2,447,053千円となりました。これは、ソフトウェア償却費の計上等により「無形固定資産」が76,308千円、繰延税金資産の減少等により「投資その他の資産」が32,718千円減少し、リース資産の増加等により「有形固定資産」が100,948千円増加したためであります。

(流動負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて46,145千円増加し、2,650,157千円となりました。これは主に、前受金が198,990千円、未払法人税等が50,600千円増加し、賞与引当金が151,682千円、未払金が15,708千円、未払消費税の減少等により「その他」が25,677千円減少したためであります。

(固定負債)

固定負債は、前事業年度末に比べて51,916千円増加し、522,687千円となりました。これは、資産除去債務が21,699千円、長期リース債務の増加等により「その他」が30,216千円増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて921,346千円増加し、5,502,139千円となりました。これは主に、利益剰余金が921,132千円増加（四半期純利益1,067,771千円、株主配当146,638千円）したためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月期の通期業績予想につきましては、2021年6月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,680,820	1,905,854
売掛金	83,553	138,635
商品	3,179,233	3,970,011
貯蔵品	12,291	46,271
その他	252,177	174,802
貸倒引当金	△7,632	△7,642
流動資産合計	5,200,443	6,227,931
固定資産		
有形固定資産	770,817	871,766
無形固定資産	824,661	748,352
投資その他の資産		
その他	876,010	847,958
貸倒引当金	△16,357	△19,150
関係会社投資損失引当金	-	△1,873
投資その他の資産合計	859,653	826,934
固定資産合計	2,455,132	2,447,053
資産合計	7,655,575	8,674,984
負債の部		
流動負債		
買掛金	253,607	243,756
短期借入金	100,000	100,000
未払金	671,436	655,728
未払法人税等	289,600	340,200
前受金	591,086	790,076
賞与引当金	217,456	65,773
その他の引当金	4,173	6,076
資産除去債務	2,428	-
その他	474,222	448,545
流動負債合計	2,604,011	2,650,157
固定負債		
資産除去債務	212,810	234,510
その他	257,959	288,176
固定負債合計	470,770	522,687
負債合計	3,074,782	3,172,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	590,254	590,254
資本剰余金	609,877	609,877
利益剰余金	3,736,745	4,657,877
自己株式	△356,229	△356,229
株主資本合計	4,580,648	5,501,780
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	144	358
評価・換算差額等合計	144	358
純資産合計	4,580,793	5,502,139
負債純資産合計	7,655,575	8,674,984

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年12月1日 至2021年8月31日)
売上高	16,349,779	19,739,702
売上原価	8,905,019	10,707,295
売上総利益	7,444,760	9,032,407
販売費及び一般管理費	6,812,100	7,596,829
営業利益	632,659	1,435,577
営業外収益		
受取利息及び配当金	30,418	30,400
クレジット手数料収入	75,669	114,152
その他	19,524	21,334
営業外収益合計	125,612	165,886
営業外費用		
支払利息	2,149	2,191
為替差損	768	-
その他	71	0
営業外費用合計	2,989	2,191
経常利益	755,282	1,599,272
特別利益		
固定資産売却益	293	327
関係会社株式売却益	-	14,148
特別利益合計	293	14,475
特別損失		
固定資産売却損	89	-
固定資産除却損	742	0
減損損失	3,575	9,061
貸倒引当金繰入額	1,517	2,792
関係会社投資損失引当金繰入額	2,062	1,873
関係会社株式評価損	-	9,564
特別損失合計	7,987	23,292
税引前四半期純利益	747,589	1,590,456
法人税、住民税及び事業税	250,858	483,841
法人税等調整額	8,407	38,843
法人税等合計	259,266	522,685
四半期純利益	488,322	1,067,771

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。